

児童・生徒の実態

- ・ 情緒が不安定になった後、次の活動への参加が難しい。

☆手立て・合理的配慮

・ トークン法を利用する。目標が達成できたら、授業のコマごとにはんこを押していき、5個そろると、シールがもらえる。シールが4個そろると、児童が好きな楽しい活動ができるようにする。

・ 児童の実態に合わせ、具体的な目標にする。

・ 児童が少し頑張れば、目標を達成できるようにする。

べんきょうがんばりひょう

めあて
べんきょうをさいごまで、がんばる。ちやれんじする。

ひら	1じかんめ	2じかんめ	3じかんめ	4じかんめ	5じかんめ	シール
2/8 (げつ)						
2/9 (か)						
2/10 (すい)						
2/11 (もく)						
2/12 (きん)						

5ふんていすにもどれたらはんこゲット!!

シールが4つたまったら
ごぼうびがあるよ!

支援を受けてみて

- ・ 絶対にシールをためたいので、頑張って勉強する。(本人)
- ・ 泣いたりすねたりしても、短時間で自分で気持ちを切り替えて椅子に座れるようになった。(学校生活支援員)